代からまちをつくってきましたから、公代からまちをつくってきましたから、公で、リターンやーターンとともに、ふるさとが選べるようなしくみが無理のない地とが選べるようなしくみが無理のない地で、リターンやーターンの支援をすすめで、リターンや高とおりで、定住だけ野見山 おっしゃるとおりで、定住だけ野見山 おっしゃるとおりで、定住だけ野見山 おっしゃるとおりで、定住だけ

企画委員会 (平成17年度から実施) と企画委員会 (平成17年度から実施) と企画委員会 (平成17年度から実施) ・ はの目主的努力により保全・形成されている景観への地域の目主的努力により保全・形成されている景観への地域及び都市と農山漁村の共生・対流の促進をすすめる。

気軽にでする。 はないでした。 はないでした。

よね。

のか、課題が山積していますねて、地域として、どうサポート民の方々と勉強会をしています

じてい

ねらし

て、地域として、どうサポートしていく民の方々と勉強会をしています。国としに導くためにはどうしたらいいのか、住今の合併を20年30年後に、なんとか成功

野見山 UR都市機構はまちづくりの専野見山 UR都市機構はまちづくりの専野見山 UR都市機構はまちづくりの専野見山 UR都市機構はまちづくりの専野見山 リス都市は連続性があると実感に、戸沼先生が校長をされていた早稲田で、戸沼先生が校長をされていた早稲田で、戸沼先生が校長をされていた早稲田で、戸沼先生が校長をされていた早稲田で、戸沼先生が校長をされていた早稲田で、戸沼先生が校長をされていた早稲田で、戸沼先生が校長をされていたりの表彰を受けました。また、私どもの「都市再生大学校」というワークショップの活動の中で、戸沼先生が校長をされていたものですが意欲を感じましたね。行政や住民とは異なる視点でコーディネートを考えといまが表示が表示が表示が、そういった。

戸沼 若い連中はそんなことに気づいて に満足できないグループがたくさんい ます。大都市のなかでももうITだけ では満足できないグループがたくさんい ます。大都市のなかでももうITだけ では満足できないグループがたくさんい ます。大都市のなかでもを住している地 域、疎住という地域もあり、それぞれ課 題があります。密住には地震や災害の問 題があります。密住には地震や災害の問 の問題があります。市町村合併でもいます。 お話のような、良い集落の破壊も問題で すね。いずれにしても地域的なアイデン すね。いずれにしても地域的なアイデン

しょう。もうちょっと身軽に、いといけない、そういう時代でしまう。定住というと覚悟を決ぐらいの自由さがないと場所に

そ

すよ。
 は、ただ美しい景色を見て帰ってくるだけではつまらない、だれかとおしゃべりけではつまらない、だれかとおしゃべりけではつまらない、だれかとおしゃべりが、ただ美しい景色を見て帰ってくるだが、ただ美しい景色を見て帰ってくるだが、ただ美しい景色を見て帰ってくるだが、ただ美しい景色を見て帰ってくるだが、ただ美しい景色を見て帰ってくるだが、ただ美しい景色を見て帰ってくるだが、ただ美しい景色を見て帰ってくるだが、ただ美しい景色を見て帰ってくるだが、ただ美しい景色を見て帰っている。

ま役は住民で、それを上手に行政がサポートされるのですが、そのサポートの仕方には、みなさんどうかネクタイはずして、もっと住民の中に入っていってください、宮本常一先生の精神を学んでください、宮本常一先生の精神を学んでください、宮本常一先生の精神を学んでください、宮本常一先生の精神を学んでください、宮本常一先生の精神を学んでくだったままが、全くの僻地になってしまからみまだが、全くの僻地になってしまった。

沼

の

景観と観光とい

う話題です

す。「美の里づくりコンクータイはずして住民の中に、

)里づくりコンケール」(*3)でもして住民の中に入り込んでいま)行政のキーマンとなる人がネク

コーディネート事例

▼ 沖縄中の町A地区 (沖縄県沖縄市)

完成イメージ

浜 私も先日、早稲田のサークルに参加したのですが、建築の基層を学ぶということで民俗映像研究所の姫田忠義さんの昔の焼畑農業やダムに沈んだ集落などの映像を題材に、現代建築と基層文化に、現代建築と基層文化に、現代建築と基層文化に、現代建築と基層文化に、現代建築と基層文化に、現代建築と基層文化に、現代建築と基層文化に、現代建築と基層文化に、現代建築と基層文化に、現代建築の基層を学ぶる議論が交わされていました。若い方は

防府駅てんじんぐち地区▶ (山口県防府市)

完成イメージ

もそ

一環できたけ.

食アメニティ・コンテスト受賞グループ (一例)

______ 青森県青森市 浪岡町生活改善グループ連絡協議会大豆部会

おいたのように日本に入ってくる物がいままでのように日本に入ってくる物がいままでのように日本に入ってくるを45%にあげるのではなくて、私たちのを45%にあげるのではなくて、私たちのです。昨年から本にかけての方々のとくにお年寄りに感動をおぼえるのは、雪に閉ざされても備蓄のみそと塩と米がある、かつての薪や炭でなく灯油の心配はあるものの、土の中にはダイコンや野菜も保冷されていて、すごく冷静沈着だったということです。愚痴を言わず耐える、そして生き抜く知恵がある、これらを都会のわれわれは学ばないといけない。足りないから輸入するのではなく、食の根幹は地域の生き方にあるということを、もっと真剣に議論されても良いとつくづく思いますね。

の本庄早稲田駅の隣接地を使って外国人との連携を検討しています。 あそこる早稲田大学の本庄キャンパスは、本庄る早稲田大学の本庄キャンパスは、本庄をもつ大学院をつくっています。 埼玉県にあとの連携を検討しています。 埼玉県にある早稲田大学の本庄キャンパスは、本庄がルができるのではないか、まちづくりがかげて地域と大学、小中学校がいっしかかげて地域と大学、小中学校がいっし

ると思いますね。 教育活動は、地元の方々にも感銘を与えかパスで取り組んでいる先端的な研究・けて努力中です。早稲田大学が本庄キャけて努力中です。早稲田大学が本庄キャリの大会が、
東・市と一体となって主務大臣認可に向野見山 本庄新都心の事業については、

地

域

す

げい てます。

都留市で.

大学の

役割とは

知れないですね。 見合う程度の人口になるということかもら7千万人に戻るというのは、自給率に戸沼 近い将来日本の人口が6千万人か

戸沼 21世紀の人口減少社会を日本や、 戸沼 21世紀の人口減少社会を日本や、 戸沼 21世紀の人口を保つダムみたい な機能がある、山梨県都留市の公立都留 な機能がある、山梨県都留市の公立都留 な機能がある、山梨県都留市の公立都留

早稲田大学本庄キャンパス 上越新幹線本庄早稲田駅前

ーンツーリズムがあるといいイアした社会人が参加できるられる、地域、まちづくり、エ

ツーリズムがあるといいと思した社会人が参加できる新し

いと思いる新しい

ます。

トは18歳人口ではなく高齢者です。の大学もいま経営が大へんで、ター

ター

私が

そうです

Ą

提案します

も勢いづかせ+ 方も多いので+ 方も多いので+ がループで、ば

つかせますね。 いのですが、物知りが多くて楽しいのですが、物知りが多くて楽しブで、ぼくと同じぐらいの年齢のバる新宿学というのは生涯学習の

団の団地をふるさとと思っている方も多可の団地をふるさとと思っていただけるような努力もしています。美しいまちなみづくりといっ自然をつくって、それをひとつのふだけがつくるべきものではない、住んでだけがつくるべきものではない。 アラインガルテンとかビオトープといただく方々がつくるものなのだと考えています。

工手学校というのがあって、大学には入らずにこて、大学には入らずにこて、大学には入らずにこれがいまは建築やす。それがいまは建築やす。それがいまは建築やす。それがいまは建築やす。と世人できたけれど、空間映像などの学科のある早稲田大学芸術学校となりました。早稲田大学芸術学校となりました。早稲田大学芸術学校となりました。

なると思いま られれば、4 50代600

生きていくのがぐんと楽しく代の方々が知的な満足度が得

ネクタイをはず

住民 の て

中

 \wedge

そこでは行

く り が 地

行域

れて

によって自 るところ

1立型の

まちづ

大豆の生産・加工・販売「豆まめ工房」「豆や」を経営 (平成16年度優秀賞)

新潟県南魚沼市 (有)上田の郷

(平成17年度優良賞)

伝統野菜「かぐらなんばん」栽培や体験交流館「上田の郷」を経営

兵庫県たつの市 室津漁業協同組合女性部 直売所「魚魚市(とといち)」の経営とさまざまな加工品を販売

文科大学は、学生 が3000人、市 でも「教育首都」を は、大学が一緒にまち で、いわゆる大学 で、いわゆる大学 が300人、市 が300人、市 が300人、市 が300人、市 が300人、市 が300人、市 が300人、市

の宿舎にしたらと考えたのですが、そのの宿舎にしたらと考えたのですが、そののあり方を示してくれたのが地域公団とその仕事を引き継いだUR都市機構のグループです。地方のまちづくりでは大学がやはりコアになります。東京でも大学が一時郊外に出ていきましたが、いまは都心に大学が参加しようとしています。大学というのはまちに育てられるのです。学生も新宿で飲んだり遊んだりして、まちに学んでいる、学生にとって大学に籍を里るというのはまちに育てられるのです。学なんです(笑)。

5

早稲

田大学に職人を養成す

沼

6